

# 第3学年 算数科学習指導案

日 時 平成27年10月23日(金) 6校時

児 童 3年1組 男子15名 女子17名 計32名

指導者 川 村 悦 子

- 1 個人課題 自分の考えをもち、表現する子の育成  
～既習事項を生かし考え、かかわり合いながら問題解決する活動を通して～
- 2 単元名 小数 「はしたの大きさの表し方を考えよう」(東京書籍 新しい算数3年下 P13~P14)

## 3 単元について

### (1) 児童について

本学級の児童の実態として、本時に関わって次のような点が挙げられる。

- ・自ら既習事項を生かし考えることを楽しむ子がふえてはきたが、考えることを苦手とし支援が必要な子もいる。自分なりの言葉で表現しようとする子もふえてきている。しかし、論理性に欠け思いつくままに話すため、言いたいことが伝わらないことがある。
- ・レディネステストの結果、量を dl で正確に表示できる子は65%。整数の28の構成の理解は、80%であった。このことから、量の学習を苦手とする子が多く、小数の学習に理解に時間がかかるものと思われる。本時で2.8を扱うことで小数の学習を再確認したい。

### (2) 教材について

- ・本単元の目標は、小数の意味や表し方について理解し、小数の加減計算ができるようにすることである。
- ・本単元は、第1小単元「はしたの大きさの表し方」(4時間)、第2小単元「小数のしくみ」(2時間)、第3小単元「小数のたし算とひき算」(3時間)、第4小単元「小数のいろいろな表し方」(2時間)、まとめ(2時間)の構成になっている。本時は第4小単元の1時間目である。本来第4小単元は、1時間であるが、ここで数学的な思考力をつけるため1時間増やした。
- ・本時は、2.8という小数を、数直線や式などを使っていろいろな見方をすることを通して、構成の理解を深め、感覚を豊かにすることをねらいとしている。

## 4 本時の指導(10/13時)

### (1) 目標

小数についていろいろな見方や表し方ができる。(数学的な考え方)

### (2) 個人課題や共通課題との関わり

「自分の考えをもつ」ということは、既習事項を生かし自分なりに考えることである。他者の考えにふれ自分の考えを修正することも、自分で考え納得したことである。かかわり合いながら自分の考えを深めることを大切にしていきたい。「表現する」とは、自分の考えを図や数直線でかいたり、言葉で説明したりすることである。中には、図をかきながら考えることもある。「考える」と「表現する」はお互いにスパイラルのようにつながっていると考える。本時は、今まで学習した小数を生かし、2.8のいろいろな表し方について考え、表現することを行う。そこで次のことを意識して指導に当たりたい。

- ① 280の整数の表し方を扱い、課題を把握させると共に、解決の見通しをもたせる。
- ② 友達の考えを発表したり、付け足したりしながら、かかわり合いながら考えを表現させる。

(3) 展開

段階	学 習 活 動	指 導 の 手 立 て
導 入  10分	1 問題把握 ○2.8はどのような数ですか。 ○280の場合どのような見方をしたのか確認する。 ①200と80を合わせた数 式 $280 = 200 + 80$ ②280は、100を2こと10を8こ合わせた数 ③280は、10を28こ集めた数 ④280は300より20小さい数 式 $280 = 300 - 20$ 2 課題把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             2.8はどのような数か考え、表そう。           </div>	○280という整数の場合を取扱うことで、題意を確実にとらえさせたい。 ○①～④の方法を数直線や式で結び付けさせる。 ○数直線を扱う場合、1, 10, 100の単位となる数を確認したい。
展 開  30分	3 自力解決 ○2.8はどのような数か考える。 ・①～④の方法で考える。 ・数直線で考える。 ○ペアで交流し合う。 4 学び合い ○全体場で考えを発表し合う。 ①2.8は、2と0.8を合わせた数 式 $2.8 = 2 + 0.8$ ②2.8は、1を2こと0.1を8こ合わせた数 ③2.8は、0.1を28こ集めた数 ④2.8は、3より0.2小さい数 式 $2.8 = 3 - 0.2$	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★☆視点1 (考えることへの意欲)</p> <p>280の表し方①～④をもとに、解決方法を考えさせたい。また、本時の学習で扱う既習内容を掲示して、考えの手助けとなるようにしたい。数直線図なども用意し、必要に応じて使用させ表現できるようにさせたい。</p> <p>ペアで交流することで、発表に自信をもたせるとともに、考えることができない子への手助けとなるようにしたい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★☆視点2 (学び合い、表現する)</p> <p>言葉で表された友達の考えに対して表現方法を変え、式や数直線で説明させる。</p> <p>考えにつけ足しをすることで深めていきたい。</p> </div> <p>■ 小数の仕組みをもとに、数直線や式を用いて、2.8の多様な見方について考え、表現している。&lt;発表, ノート&gt;</p>
終 末  5分	5 まとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             2.8は、いろいろな見方ができる。           </div> 6 振り返り 7 次時の予告	○①～④の表し方があることを確認しまとめた い。 ○わかったことやよかったことを振り返り、学習感想として書かせたい。 ○①～④のよさと関わりを見つけることを確認する。